

横浜市内 放課後等デイサービス事業所 各位

横浜市こども青少年局障害児福祉保健課

放課後等デイサービスにかかる指標該当の再判定の対応について

放課後等デイサービスについては、平成 30 年 4 月から新たな報酬区分が導入され、国の通知等を踏まえて横浜市での「放課後等デイサービスに係る指標該当の再判定の対応」を運用してきましたが、取り扱いを一部修正しましたのでお知らせします。

1 今後の再判定の対象となる可能性のある児童

受給者証の交付年月日から 3 か月以内に、保護者から再判定の申請があった、以下のいずれかに該当する児童

- (1) 放課後等デイサービス事業者が対象児童の「放課後等デイサービス利用児童 状況確認票（再判定用）」を保護者と面談等により確認の上改めて作成した結果、指標該当「有」となる点数になると見込まれる等、合理的な理由のある児童
- (2) 療育手帳 A 区分、精神障害者保健福祉手帳（1 級、2 級）の所持者又は特別児童扶養手当受給対象児童
- (3) 保護者が「放課後等デイサービス利用児童 状況確認票」の記載を誤って記入した児童
例：「できる状況」で記入してしまったなど、記入の前提条件を誤認していた

- ※ 再判定の結果、指標該当「有」に変わる場合、当該の交付年月日から指標該当「有」として取り扱います。
- ※ 上記(1)～(3)に該当していても、再判定の結果「放課後等デイサービス利用児童 状況確認票」の合計点が「該当（13 点以上）」にならない場合は、指標該当「無」のままです。
- ※ 3 か月経過したときや児童の状態像が変化したときは、上記のような再判定ではなく、原則として、変更申請として取り扱います。これによって指標該当「有」に変わる場合、その変更申請日の属する月の翌月 1 日から指標該当「有」として取り扱います。

2 再判定の流れ

- (1) 保護者から各区福祉保健センターに以下の書類を提出
 - ① 放課後等デイサービス指標再判定依頼書
 - ② 放課後等デイサービス利用児童 状況確認票（再判定用）
- (2) 区役所で再判定
 - ※ 複数事業所を利用している児童について、指標該当の結果に変更が生じれば、その結果はすべての事業所に適用されます。
- (3) 受給者証を再交付

(4) 留意事項

各放課後等デイサービス事業所において、再判定が必要と思われる児童が利用していて、再判定を事業所が希望する場合、必ず、事業所から保護者に状況や必要性等を十分に説明した上で、事業所と保護者が、「放課後等デイサービス状況確認票 再判定用」を作成して、その書類を保護者が各区福祉保健センターに提出するようにお願いします。

3 実施時期

即日

4 参考

令和2年度は、令和元年度一年間（4月～翌年3月）の指標該当「有」の児童の利用割合に基づき、報酬区分を適用する予定です。

担当 横浜市こども青少年局障害児福祉保健課

電話 045-671-4278

FAX 045-663-2304

Mail : kd-syogaijifukuho@city.yokohama.jp